
自分隠しに大切なこと。

たくあん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自分隠しに大切なこと。

【Zコード】

Z0382Z

【作者名】

たくあん

【あらすじ】

殺人経験のある少しおとなしめな高校一年生桜井 水瀬と両親が
早くに他界し、孤児院で育つた自由気ままな高校一年生南 海斗の
学園生活を描いたコメディ多め（のつもり）で、シリアルスも入れた
りするラブ（？）ストーリー！

第一話「夢せよつも敵」（前書き）

更新は気が向いたときにします。なにぶん三日坊主なもので・・・。
この小説はなるべく続けますのでお暇なときに読んでつけてください。

第一話「夢はいつも敵」

始まりはいつもお腹。一度と思に出したくない事件の起る一時間前の少し遅めの起床から始まる。

自分隠しに大切なこと。第一話「夢はいつも敵」

午前12時15分。桜井 水瀬はまだベットの上で眠ったままだった。本当は一度7時ぐらいに起きたのだが、休日と言つて一度寝をしたのだった。

「・・・あれ? もう12時か・・・」

思つていたよりも寝過ぎてしまつていたようで、頭がボーッとする。今日は特に用事が無いので問題は無いが。

「おなかすいた・・・」

誰に言つてもなくつぶやいてみる。そういえば今日は両親が帰つてくるのは遅くなるとか言つていたような気がする。

「しかたないな。自分で作る」

小学4年生の水瀬はかなり「出来た子」だった。勉強、料理、運動なんでもこいの優等生だった。だがやはり苦手なものもあり、虫とお肉は見たくも無いぐらいだった。とにかくおなかがすいたので何か作ろうと冷蔵庫を開けるとそこには・・・何も無かつた。

「買い物ぐらい行つておいてよも～！」

本当に漫画みたいに何も無い。机の上を見てみるが、何かを作つておいでくれている様子も無い。

「食材も料理も血も涙も無い・・・」

・・・近くに誰もいないことを確認して安心する。今のは絶対に人前では言えない。

「・・・あんまり変なことは言わないよ」としぬきやね

自分自身に釘を刺し、とにかく買い物に行くことにする。

突如世界が闇に覆われる。

・・・このままいつもの生活が続けばよかつたのに
・・・分つてゐる。もう過ぎたことだから。もつあきらめてるから
・・・でも、やり直せるならやり直したい。
・・・殺したかったわけじゃない。

目の前にあるのは強盗犯から広がる血の海。そして水瀬の手にあるものは・・・真つ赤なナイフ。

・・・仕方が無かつたんだよ。だつて、ああしないとお母さんが。

小学4年生が放つた母を守るためのナイフは、強盗犯の命だけなく、娘に注がれるはずの母の愛情さえも刈り取つていった。

「私が・・・私が・・・」

「殺した・・・?」

その日、水瀬から本当の笑顔は消えてなくなつた。

「・・・またあの夢か」

もう見慣れた最悪の悪夢から目を覚まし、高校生になつた水瀬はベッドから体を起こす。時計を見ると、丁度午前12時15分を回つていた。

第一話「夢はいつも敵」（後書き）

やっぱシリアル苦手だなあ・・・。次からはあんまりシリアル入れないよ!こじないと・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0382z/>

自分隠しに大切なこと。

2011年12月1日17時01分発行